

町田市 S.C.「健康・生活アンケート」結果報告（抜粋）

アンケート実施期間：平成 27 年 1 月 9 日～2 月 22 日

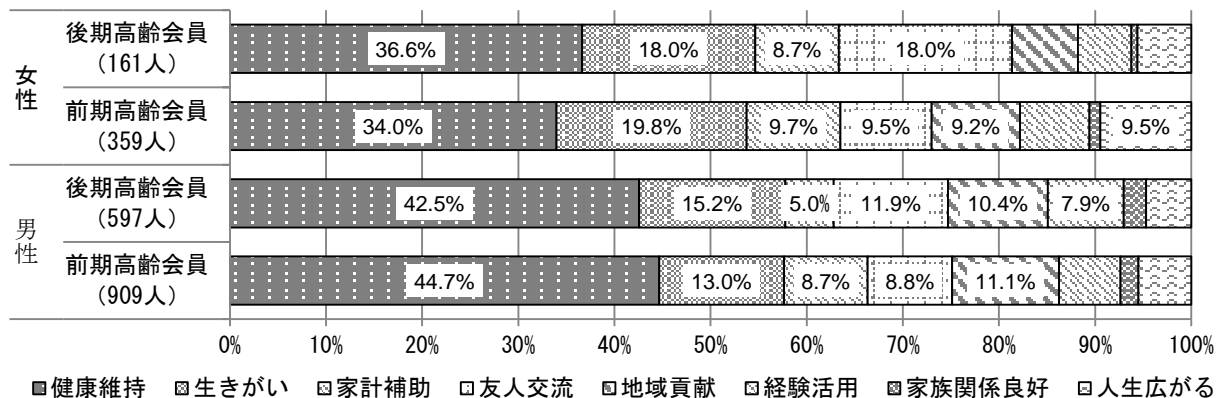
第 10 回「健康・生活アンケート」（平成 27 年）の結果の一部をご報告いたします。ご協力ありがとうございました。

1. センターに在籍する目的とは「センター会員でいる最も重要な意味は【問 51】」

「友人交流」では、前期高齢会員（男性 8.8%，女性 9.5%）よりも後期高齢会員（男性 11.9%，女性 18.0%）が重要視しており、とくに女性会員の方がこの傾向が強いことがわかりました。

また、「家計補助」を選択した会員は、前期高齢会員よりも後期高齢会員の割合が、男性では低くなる一方（前期高齢会員 8.7%，後期高齢会員 5.0%）、女性では割合に差が見られませんでした（前期高齢会員 9.7%，後期高齢会員 8.7%）。

図表 1. 性別・年齢別の在籍目的（2,026 人）

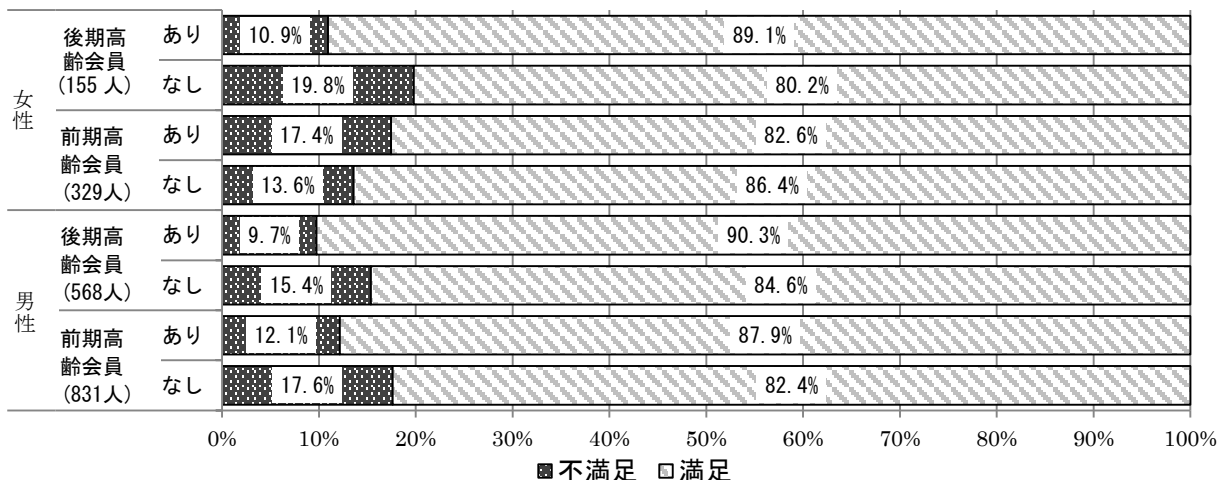


2. 仕事内容への満足度「仕事内容をどのように感じていますか【問 41】」

全体の 85%の会員が仕事内容に満足していました。これを、入会時の希望職群への就業の有無別にみると、希望した仕事に就けた人の方がやや満足度が高い傾向があるものの、女性の前期高齢会員では、逆になるなど一貫した結果ではありませんでした。

これらの結果から、センター会員の仕事内容への満足度は全体的に高く、希望した仕事に就けなくても、高い満足度を得ていることがわかりました。

図表 2. 希望した職群への就業のあり・なしと仕事内容に対する満足度（1,883 人）



(分析：ダイヤ高齢社会研究財団)